



読者のページ



喜寿を迎えて

中川区三ツ池ことぶき会

谷崎 信子

3カ月前、知人より「朝、顔を洗った後に両手に水をつけ顔を100回パタパタと叩くと肌にハリが出ていいよ」と教えてもらいました。まずこめかみ30回、とても気持ちがいい。口の周り20回、梅干し婆さんになりやすいので、あとは適当に水を足して叩く。最後は首の横を空手チョップ10回で終わります。1〜2分掛かるだけで気分爽快です。水が冷たいとき、嫌だなと思うときもありましたが、頑張っって今に至っています。心持

ち皺が少なくなってきたように思われます。ハリも出てきたみたいで鏡を見るのがうれしくなりました。実母より5年も永く生かされて喜寿を迎えることができ、感謝しております。また義母が81歳のときに「あんたにくつになった」と聞かれ「わしゃまだ18歳や」と言っていました。いつもニコニコと明るい人でした。94歳まで生き、大往生でした。私もまだ77歳だと思おうようにして義母を見習いたいと思います。何事も明るく過ごすことを心掛けたいです。



新型コロナウイルスの恐ろしさ

北区アーバンラフレ志賀寿会
山ノ内登志江

令和2年の新春早々より新型コロナウイルス感染拡大が続いて、オリンピックをはじめ、すべての行事が中止になりました。惜しまれた名優も天に召され無言の帰宅、残念でなりません。

江戸時代の妖怪アマビエが「疫病退散」で話題になり人気を呼んでいます。ツイッターなどに自作のイラストを投稿する動きが広がっており、研究者は江戸時代の人々の心理とあまり変わらないと分析する。妖怪に詳しい福井県文書館の長野栄俊主任司書などによると、アマビエは長い髪を持ち、鱗

を身にまとったような愛くるしい姿をしています。

また、肥後の国(熊本県)の海からアマビエが姿を現わし、「当年より6カ年の間は諸国で豊作がつづく。しかし同時に疫病が流行するから、私の姿を描き写した絵を人々に見せよ」と告げた言い伝えがあります。

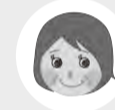
今年は母の日に名古屋のある花屋さんでも店内にアマビエを描き、母に祝いの花をアレンジメントして新商品を揃えて、店内で人気を呼んでいました。

第2波の新型コロナウイルスが発生しないよう、個々で冷静に行動し大切な命を守って行動しましょう。私もアマビエの絵をいろいろ描き家の中に貼り、子どもと祈っています。早く平和な国になりま

今年は、新型コロナウイルスにより、集会が困難になっており、緊急事態が終わり、普段の生活になるよう、自粛の毎日です。高齢化が進む中で、お互いの健康に気をつけながら、助け合い、有意義な生活を送っています。(緑区N)

新型コロナウイルス感染予防で自粛の中、旅行も夏祭りも中止。そんな中グラウンド・ゴルフを、3密を避けてやったり、ネットの歌声喫茶で歌ったりして過ごしています。早くみんなと会っておしゃべりしたいです。(中川区K)

コロナ感染予防の外出自粛のため時間の余裕が出来クロスワードに挑戦しました。なかなか難しかったです。(守山区K)



読者の声



96才の母が亡くなり四十九日百日法要も勤め終え、なごやかひろばをじっくり読むことができました。これからは、高齢生活の気持ちのスイッチにします。(中川区K)

孫

港区甚南老人クラブ

佐野 勝

「爺ちゃん、お帰りなさい」孫の出迎えて顔がほころんでしまう。

時折息子たちが来る時には、妻から孫たちが今から来ますよとのメールが入る。いつもなら片付けをし、明日の仕事の準備を終え、7時頃に会社を出る日課だが、そんな時には、片付けも早々にして



笑って切りかえて

天白区虹の会

山田 勝子

午前中くらい大丈夫と、出掛けた私の思いとは裏腹に空は泣き出しました。思わず飛び込んだ店で雨宿り。しかし空は泣きやまず、ますます大泣きとなる。仕方無い、ここに住み込むわけにもゆかず空をにらみつつ家路につく。

急ぐ私の足を引っぱるように泣き続ける空のおかげで、ズボンの裾も上着の袖もグッシヨリ。身体が冷えてしまった。熱いお茶でも一杯と思っても、誰も居ない部屋は空気がよどむのみです。

「貴女はお気軽でいいですね」よく言われる言葉の一つです。こ

気分は飛んで帰る。ここからが75歳爺ちゃんパワー炸裂！爺ちゃん遊ぼうと手を引かれ孫たちと遊ぶ。6歳と4歳の女の子、2歳の男の子と、これまたみんな可愛い。ボール投げから始まり、ジャンケン遊び、かくれんぼと続く。仕事で疲れていてもなぜか、孫たちとの遊びは楽しい。

爺ちゃん大好きと抱きついてくる。これはなんと至福の時だ。孫たちの笑い声を聞いているのが、いつまでも元気でいられる源だ。

帰る時、握手をし、車が見えなくなるまで見送ったあと、なぜかほっとし、疲れがどっと出てくる。孫って不思議な生き物だ。

テーマ投稿

9月号のテーマ

「気持ちのスイッチ」

気持ちのスイッチ

天白区平成クラブ

小島 宜子

んな折の私は「はいはい、そうです」と笑っていますが、助けてくれる人の居ない部屋は寂しいものです。独り身のつらさ、こんなところに現れます。

人には各々良いところ、悪しきところ有り。心の持ち方で楽しく生きられます。

誰も居ない部屋で私はこうします。「はいお茶どうぞ」「ありがとうございます」無論のこと独り舞台です。気持ちを前向きに切りかえて笑って過ごします。寂しさやつらさを飛ばしてあたえられた人生を生きたいものです。

気持ちのスイッチ

北区第一清寿クラブ

舟橋 裕子

人の前に立って話をするとき、気を遣う人に会うときなど、どきどきはもちろん、何を言つかさえ忘れてしまうことがある。

緊張のとき、いつの頃からかお腹の辺りをぎゅっと押さえることをしていることに気づいた。お腹に力を入れているのか、気をそちらに移しているのか、何とはなしに落ち着く。

例えば、コーラスで発表するとき、ドレスを着て舞台上に登る。整列して正面を向く。緊張の極みである。最初の歌詞が出てこない。お腹にさわること、おっと驚く程出だしの言葉が出てくる。ここ一番のとき、人知れずお腹に手を当て、乗り切っていきたい。

次号テーマ

小さな積み重ね

「読者のページ」ではテーマも設けています。次号のテーマは「小さな積み重ね」です。「塵も積もれば山となる」や「千里の道も一歩から」のことわざ通り、小さなことをコツコツと積み重ねていたら、大きな何かを得られたことはありませんか？ たどってきた道をふと振り返って感慨深い思いをしたときの話を聞かせてください。

